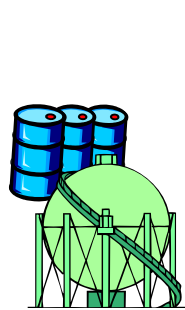


EN-S-002:ヒートポンプの導入

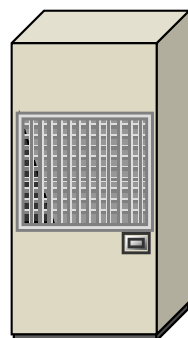
- 【削減方法】 ● 効率のよいヒートポンプを導入することにより、化石燃料の使用量を削減する。
- 【適用条件】 ① 更新前の熱源設備又は標準的な熱源設備よりも効率のよいヒートポンプを導入すること。
② ヒートポンプで生産した温水、冷水又は蒸気の熱を全部又は一部を自家消費すること。
- 【ベースライン
排出量の考え方】 ● プロジェクト実施後のヒートポンプによる生成熱量を、ベースラインの熱源設備から得る場合に想定されるCO2排出量。
- 【主なモニタリング項目】 ● プロジェクト実施後のヒートポンプにおけるエネルギー使用量
● プロジェクト実施後のヒートポンプの効率
● 更新前の熱源設備又は標準的な熱源設備の効率

【方法論のイメージ】

ベースライン



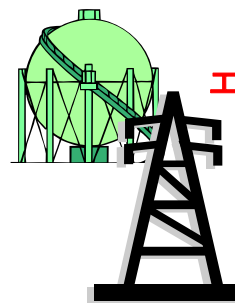
重油
都市ガス等



更新前の熱源設備
又は
標準的な熱源設備

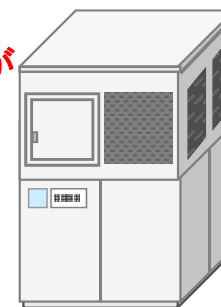


プロジェクト実施後



電力
都市ガス等

ベースラインより
エネルギー使用量が
削減される。



ヒートポンプ